

## 徳島県における小中学校の児童生徒体格の集計 (平成12年度データ)

タナカ	ヒサコ	ササハラ	ケンジ	セイ	マサコ	シンカ	トシカツ
田中	久子*	笹原	賢司 <sup>2*</sup>	勢井	雅子 <sup>3*</sup>	新家	利一 <sup>3*</sup>
イシモト	ヒロコ	ツダ	ヨシミ <sup>5*</sup>	ナカホリ	ユタカ		
石本	寛子 <sup>4*</sup>	津田	芳見 <sup>5*</sup>	中堀	豊 <sup>*,3*</sup>		

**目的** 徳島県医師会生活習慣病予防対策委員会では、小児期から生活習慣病予防対策を効果的に推進するために、県下の児童生徒の健康状態の現状を把握することとなった。手始めに、基礎データとして、県下全域の小中学生の体格の現状について調査した。

**方法** 調査は、徳島県におけるすべての小中学校の児童生徒を対象に行った。解析にあたり、養護学校を除くほぼすべての小中学校の児童生徒74,859人のデータを使用した。収集した身長、体重の数値より、BMIを算出し、さらに、平均値、標準偏差、変動係数を算出し、正規性の検定、母平均の検定を学年ごとに行った。男女とも身長、体重、BMIそれぞれにおいて、全体および学年別にヒストグラムを作成し、得られた身長、体重、BMIの分布について考察した。

**結果** 学年別の身長分布は、小学2年生を除いて正規分布であり、学年が進むにつれて分布域を増した。変動係数が最も大きい学年は、男子は中学1年生、女子は小学5年生であった。学年別の体重分布は、身長に比べてピークが急峻であるが、各学年とも重い方に裾野を持つ分布で、学年が進むにつれてバラツキを増した。学年別のBMI分布は、学年が進むにしたがって、BMIの値も徐々に増加していくが、形の変化はあまりみられなかった。全体の身長分布は、男女とも明らかに二峰性のヒストグラムとなった。全体の体重分布も二峰性であるが、身長分布ほど、明確な谷が観察されなかった。全体のBMI分布については、男女ともバラツキの少ないヒストグラムで、身長や体重のような凹凸はみられなかった。

**結論** 身長、体重、BMIのそれぞれ、また、全体分布について検討し、小児の成長に関して知見を得た。また、徳島県の特徴が明らかになった。今回得られた資料は今後の活動の基本データとなる。

**Key words** : 身長, 体重, BMI, 小学生, 中学生

\* 徳島大学大学院栄養学研究科栄養学専攻公衆衛生学講座

<sup>2\*</sup> 福島県保健福祉部医務健康課

<sup>3\*</sup> 徳島大学大学院医学研究科プロテオミクス医科学専攻生体制御医学講座分子予防医学分野

<sup>4\*</sup> 徳島保健所

<sup>5\*</sup> 鴨島保健所

連絡先: 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15

徳島大学大学院医学研究科プロテオミクス医科学専攻 生体制御医学講座分子予防医学 中堀 豊